



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙ほか. 天界 1942, 22(257)

ISSUE DATE:

1942-10-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168470>

RIGHT:

# 天 界

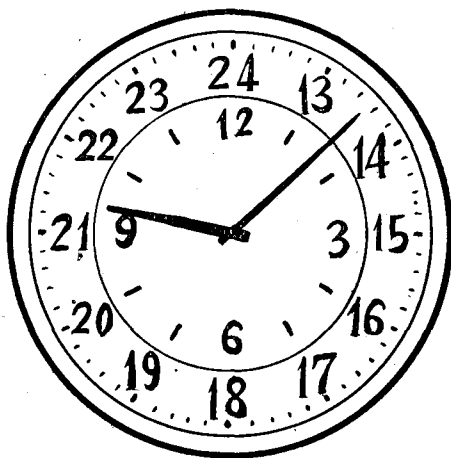
(第 22 卷)

第 2 5 7 號

昭和17年第11號

24時制の時計の文字盤

應募案 No. 3



(本誌第三五頁を見られよ)

(大阪 高城 武夫)

本部: 田上天文臺

東 亞 天 文 協 會

事務局: 滋賀縣 堅 田

1942年

## 十一月の天象 (時刻は日本標準時)

Heavens of November.

十一月は、“3日の明治節の日に雨が降つた例は絶対に無い”と言はれるほどに、好天氣の約束される季節である。従つて、天象の觀察には、一年中の最上の時であることを忘れてはならない。——我が日本で、今日の天文ファンは、都會に多い。これは實に遺憾なことである。言ふまでもなく、都市といふものは、星を見るのに最も不適當な土地なのである。ラヂオと星とは、田園生活者の特權であることを思ひ、もつと田舎に星のファンが増すことが願はしい。殊に、流星や黃道光や變星の觀測などは、都市では殆んど絶望である。

この十一月は、8日に太陽が天蝸宮の中央に來て、“立冬”となり、23日には“人馬宮”に侵入して、季節は“小雪”となる。例によつて、新黒點群の出現を見逃さないこと。

月は、1日に下弦、9日に新月、15日に上弦、23日に満月となる。故に、下旬のアンドロメダ流星群は之に妨げられるけれど、中旬の獅子座流星群は(殊にその初期出現は)都合好く觀察し得るだらう。

遊星界は、火星金星水星の三つが太陽に近くて、觀測不可能のほか、他は皆、大抵、便利よく見られるが、しかし、何れも、夕刻よりも、むしろ早曉の空の見ものとして、樂しまれるものである。中でも、天王星、土星、木星の三つは、非常に見易く、若し手頃の望遠鏡があれば、終夜見飽きない眺めであらう。

木星の4衛星の出没は、この月の間、頻繁に見られ、殊に5日には第四衛星の蝕が、始めも終りも共に我が日本で見られる。又、24日にも第三衛星の蝕が、始終共に見えるのは、見逃してはならない。詳細は天文年鑑(天界247)第27頁を見られよ。

23日の23時過ぎ、アルデバラン星が月に掩蔽される。これも可なり興味深いものである。

蝕變星アルゴルの極小は、急報557號に豫報してあるが、殊に此の現象の終夜觀測に適するのは十一月10日の夜である。

## 會員に關する報告

〔入 會 者〕			日 比 謙 三(名古屋)	工 藤 晶 三(東京)
菊 川 亟(神戸)	瀧 山 昌 夫(東京)	岸 本 恒 夫(大阪)		
長 谷 川 致 正(桐生)	教 育 博 物 館(山口)	明 治 學 院 中 學 部(東京)		
長 谷 川 敏 男(札幌)	林 清 一(東京)	小 島 成 彦(大阪)		
麥 林 璋 久(西宮)	木 村 旭 志(倉敷)			
〔觀測部入部〕			工 藤 晶 三(東京)	教 育 博 物 館(山口)

(注 意): 御移轉の節は直ちに(前住所も並記して)御通知下さい。  
觀測部(へ入部)の方は其旨附記して下さい。

## 昭和17年分會費・部費領收者芳名

會 費 (完納)			菊 川 亟(神戸)	吉 池 浩 暢(長野)
吉 岡 文 男(京都)	南 由 次 郎(和歌山)	水 尾 衛 也(山口)		
藤 一 郎(山口)	原 澄 治(倉敷)	米 井 信 夫(東京)		
森 川 鉉 二(東京)	教 育 博 物 館(山口)	田 中 清(大阪)		
森 清 太 郎(鎌倉)	工 藤 晶 三(東京)	玉 置 彌 榮(東京)		
同 (一部完納)				
瀧 山 昌 夫(東京)	麥 林 璋 久(西宮)	岸 本 恒 夫(大阪)		
長 谷 川 致 正(東京)	田 中 德 雄(京都)	小 島 成 彦(大阪)		
林 清 一(東京)	木 村 旭 志(大阪)			
部 費 (完納)				
津 留 繁 雄(熊本)	教 育 博 物 館(山口)	工 藤 晶 三(東京)		

(順序不同) (領收通知に代ふ) (1942—8—31締切)

## 本 號 要 目

表 紙 繪: 24時制の時計の文字盤 No. 3	
口繪寫眞: 1941年十月の火星スケチ (5)	
巻頭隨筆: PLUTO の譯名について	山 本 一 清 347
宇 宙 の 年 齡 (1)	H. N. ラセル 350
24時制の時計面の考案	高 城 武 夫 355
土 星 環 初 等 論	竹 内 時 男 357
暗黒より黎明へ (1)	R.G. エイトケン 358
一 つ の 疑 問	364
黒點觀測結果報告	蔡 章 献 365
學者が忘れてゐる星座 (3)	山 本 一 清 370
天界新知識 (7件)	373
標準天文用語表 (11)	376
觀測部月報: 遊星面・太陽・流星・彗星	378
た よ り	382
消 息 (3件)	349, 364, 375
天 界 正 誤 表	369
天 の 川 (俳句)	372
たてぐみ: 星の名で呼ばれる七つの化學元素	山 本 一 清(383)
1942年十一月の天象	表紙 第2頁

# 1941年十月の火星スケチ (5)

Sketches of the Mars, 1941 October.

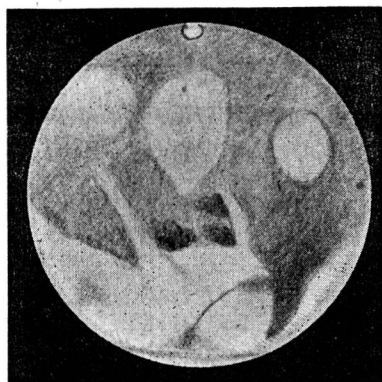
(25)

伊達英太郎氏 Dr



(26)

村山定男氏 S.M.



(27)

蔡章猷氏 S



(28)

前田静雄氏 Mh



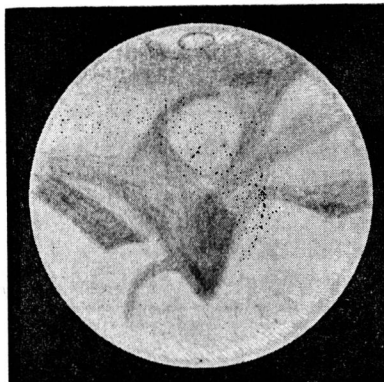
(29)

渡邊恒夫氏 Wt



(30)

木邊成磨氏 Kp



(25) Oct. 24, 19<sup>h</sup>55<sup>m</sup>.  $\omega=260^\circ$

(27) Oct. 23, 20<sup>h</sup>10<sup>m</sup>.  $\omega=277^\circ$

(29) Oct. 22, 22<sup>h</sup>45<sup>m</sup>.  $\omega=295^\circ$

(26) Oct. 25, 20<sup>h</sup>30<sup>m</sup>.  $\omega=260^\circ$

(28) Oct. 23, 21<sup>h</sup>20<sup>m</sup>.  $\omega=290^\circ$

(30) Oct. 20, 20<sup>h</sup>10<sup>m</sup>.  $\omega=300^\circ$

1941, J. C. T.

## 東 亞 天 文 協 會

—大正9年(1920年)創立, 昭和7年(1932年)改名—

會 長	山 本 一 清	(滋賀縣草津町大路井420; 同栗太郡上田上村桐生)
副 會 長	宮 森 作 造	小 槇 孝 二 郎
理 事 長	宮 森 作 造	觀 測 部 長 木 邊 成 麿
專 務 理 事	中 村 覺	經 理 部 長 宇 野 良 雄
教 育 部 長	高 城 武 夫	事 業 部 長 大 口 周 作
報 導 部 長	山 本 一 清	理 事(無任所) 美 田 爲 三

本部所在地 田上天文臺 滋賀縣栗太郡上田上村桐生  
 事務局所在地 滋賀縣堅田局區内  
 經營する天文台 倉敷天文台 岡山縣倉敷市  
 大阪支部所在地 大阪市電氣科學館プラネタリウム (大阪市四ツ橋)  
 臺灣支部 臺北市公會堂内  
 黃道光觀測所 廣島縣沼隈郡瀬戸村

## 東 亞 天 文 協 會 觀 測 部

1. 流 星 課 (課長 和歌山縣有田郡金屋 小槇孝二郎, 幹事 宇野良雄)
  2. 彗 星 課 (課長 滋賀縣草津町大路井420 山本 進)
  3. 變 星 課 (課長 木邊成麿, 幹事 小澤喜一)
  4. 太 陽 課 (課長 缺, 幹事 靜岡縣志太郡吉永村吉永1768 大石辰次)
  5. 黃 道 光 課 (課長 田上天文臺 山本一清, 幹事 本田 實)
  6. 豫 報 課 (課長 山本一清, 幹事 神田壹雄)
  7. 機 械 課 (課長 滋賀縣野洲郡中里村木部 木邊成麿)
  8. 寫 真 課 (課長 大津市鹿岡町 堀井政三)
  9. 遊 星 面 課 (課長 伊達英太郎, 幹事 佐伯恒夫, 青木章)
- 火 星 班 (班長 兵庫縣川邊郡雲雀丘 伊達英太郎)  
 木 星 土 星 班 (班長 大阪市四ツ橋畔 電氣科學館 佐伯恒夫)  
 水 星 金 星 班 (班長 大阪市四ツ橋畔 電氣科學館 青木 章)
10. 掩 蔽 課 (課長 大阪市住吉區萬代東4の6 高城武夫)
  11. 月 面 課 (課長 伊達英太郎)
  12. 歷史研究課 (課長 兵庫縣武庫郡本山村岡本高石344 井本 進)

## 觀 測 部 規 定 (昭和6年11月22日制定)

- 第1條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ, 天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第2條, 第3條, 第6條 (略)
- 第4條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事が出來ル。
- 第5條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ東亞天文プレテン, 東亞天文協會急報並ビニ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。

## 天 界 第 2 5 7 號

昭和17年9月28日印刷  
昭和17年10月1日發行

Ⓢ〔定價金40錢〕 送料金1錢

編輯兼發行 滋賀縣滋賀郡眞野村大字眞野513

東亞天文協會 (振替大阪56765)  
 (代表者山本一清)  
 日本出版文化協會第2種會員(第220038番)

發行所 同 上  
 印刷所 京都市上京區上樺木町千本東入  
 印刷者 同 上  
 配給元 東京市神田區淡路町二丁目九番地

同 上  
 眞美印刷所〔電西陣3702〕  
 橋本岩太郎  
 日本出版配給株式會社